

1. 活動の概要

6月5日(木)、隠岐の島町立北小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。「ふるさとの歴史にふれよう」と題し、地域の遺跡についての学習と勾玉作りを行いました。

まず、弥生時代の青銅器のレプリカを实际触って社会科の復習を行いました。続いて勾玉の形や作り方などについて資料を見ながら学んだ後、勾玉作り体験を開始しました。

勾玉づくり体験は、滑石という軟らかい石を用い、17名それぞれのペースで勾玉を磨きました。途中、お互いの勾玉を観察しあい、磨き方を改めて理解し、完成に近づけていきました。児童の皆さんは予定の時間を少しオーバーしながら最後まで根気強く製作に取り組みました。

終わりに、完成した勾玉と古代衣装を身につけ、全員で記念撮影をしました。

北小学校のみなさんありがとうございました。

2. 活動の様子

1) 弥生時代の様子を学ぶ



レプリカの銅鐸を鳴らしてみました



黙々と削っています



片付けもしっかり



勾玉をもち古代衣装を着て記念撮影

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- 良い勾玉が作れた。
- 勾玉作りは難しかった。
- 古代衣装が着られて良かった。
- 今度遺跡に行ってみたい。

2) 担任の先生から…

勾玉作りと青銅器のレプリカに触ることができ、社会科の学習に対して児童の関心が高まった。

3) 埋文センターから

青銅器のレプリカに興味津々で触ったり、勾玉の説明をしっかり聞いたりすることができました。勾玉づくりでは、何とか完成させようと皆さん必死に削りました。古代衣装を身にまとい勾玉を首に付ける嬉しそうな姿が印象的でした。勾玉作りの時間がオーバーしたため終わりが慌ただしくなっていました。時間の進行管理がうまくできなかった点は反省点として今後、改善していきます。